

📅 12月8日～12月11日 イベント盛り沢山の4日間でした！📅

首里城周辺フィールドワーク(12/8)

地質や地形の起伏などを観察・体感し、首里に琉球王国の王都が築かれた理由を推察するなど多角的な視点で街の成り立ちを考えるという機会にすることを目的に、2 学年国際文科・普通科で 2026 年再建予定の首里城及びその周辺をフィールドワークしました。守礼門から入り左手にある第 32 軍司令部遺跡や右手奥にある龍樋について本校教諭からの説明を受けその歴史や地質構造などを学びました。歓会門、瑞泉門、漏刻門を抜け、大龍柱展示室や復元工事エリアにて復興に向けた取組を見学しながら生徒達はメモを取ったり、また事前にグループで話し合った質問内容を幾つか選び首里城施設の方やそこを訪れている観光客の方へインタビューもしました。首里城を抜けて島添坂から金城町の石畳道を通って金城村跡、金城大樋川まで見学し普段歩き慣れていない石畳を直に感じる事ができたようです。

🔪 インタビュー 🔪

首里城が燃えてしまった後の瓦は再利用などするのですか？

赤瓦の破片を細かく砕いて新たな赤瓦を創る際の原料にする取組をしています。用意された赤瓦の破片はおよそ 18 トンです。

観光客の方々に是非見て欲しいところはどこですか？

建物の土台だけではなく石垣の下の方も見て欲しいし石垣の曲線。日本の城の中にはない「うたき」も是非見て欲しい。

火災後、首里城への思いはどのようなものになりましたか？

首里城が人々に大切にされていると改めて分かった。後世に残していきたいという思いがあり若い世代に首里城の事を知って欲しい。

インタビューにご協力頂いた皆様
ありがとうございます m(_ _)m



(金城町石畳道)



(龍樋を地質学的にも学習)



(大龍柱補修展示室)

🏯 フィールドワークに行って.. 🏯

・自分自身首里城を知っているつもりでしたが、今回行ってみると知らない事だらけで自分の無知さに驚きました。きっと今回のフィールドワークが無かったら、地元の世界遺産の事も知らなかったのかと思うとちょっと恐ろしいです。

・首里城の近くに壕があったことを知りました。その理由や内容などを学べて良かったです。

・日本の城とは違って中国などアジアの国の文化を感じられるような異国な雰囲気だった。

・思っていたよりも中国との繋がりが深い事がわかり、琉球王国の歴史を以前よりも知ることができました。と同時に沖縄を語る上でとても重要な場所だと感じました。

・沖縄の伝統全体に言えることだけど、後世に伝えていくということが最も重要だ。その為にはまず県民として、自県の魅力をもっと知る必要があると気づいた。

～次号へ続く～